博士課程／口腔科学専攻／博士（歯学）

口腔科学専攻では，口腔科学ならびに隣接する分野に関する学術の理論および応用を教授研究し，幅広い科学的基盤をもち，かつ専門性にも秀でた，教育・研究・臨床ならびに歯科行政などの分野で指導的役割を担う人材の養成を目指しています。そのために，次のような人物を求めています。

●求める人物像

（知識・技能・関心・意欲）

- 口腔科学に関する興味と情熱に溢れ，歯学科課程（6 年制）で修得すべきレベルの口腔科学および歯科臨床についての高度な専門的知識と技能を有し，これをさらに磨くことにより後進を指導する能力を身につけ，口腔科学の進歩と社会的課題の解決に意欲を燃やす人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

- 生命倫理を尊重し，論理的思考と科学的根拠に基づく歯科医療の開発と実践を志す人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

- 自立して社会や地域の問題に向き合い，その課題解決のために他者の意見を真摯に受けとめ，協働して国際社会や地域社会の発展に貢献しようする人

●入学者選抜の基本方針

一般入試

個別学力検査では，主として専門分野に係る語学力を含めた知識・技能を評価します。「専門科目」試験では，人体と口腔の構造・機能，歯と口腔の健康と疾患発症に関する生命科学，臨床歯科医学に関する歯学科課程（6 年制）で修得するレベルの専門的な問題とします。「英語」試験では，一般医学・歯学の全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。

面接では，専門知識と技能に関する試問試験を含め，歯学・口腔科学への関心・意欲，思考力・判断力・表現力，倫理観，主体性，協働性を総合的に評価します。

社会人特別入試

社会の現場で活躍している開業医及び勤務医，大学院修士課程修了後，研究又は医療業務などに従事している社会人等に対し，リカレント教育の門戸を開く目的で，入学時の学力試験を免除した特別入試を実施します。

面接では，　専門知識と技能に関する試問試験を含め，先端の歯学・口腔科学への強い関心・学習意欲と合わせて，思考力・判断力・表現力，倫理観，主体性，協働性を総合的に評価します。入学後，在学中に語学試験（英語）に合格することが要求されます。

外国人留学生特別入試
英語での学習を希望する外国人に向け，筆記試験（専門科目・語学）と面接を英語によって実施します。評価の基準は一般入試と同じです。

英語プログラム（国費）外国人留学生入試
書類審査及びインターネットインタビューによる面接では，英語の読解力・理解力，専門分野に関する知識・技能，関心・意欲，思考力・判断力・表現力，主体性，協働性を総合して評価します。採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

英語プログラム（私費）外国人留学生入試
書類審査及びインターネットインタビューによる面接では，英語の読解力・理解力，専門分野に関する知識・技能，関心・意欲，思考力・判断力・表現力，主体性，協働性を総合して評価します。